

一般社団法人 兵庫県公認心理師会
2022 年度 年次報告書

第 2 回 定時社員総会

日時 : 2023 年 6 月 25 日 (日) 13:30-15:00

場所 : オンライン

次第 :

開会の辞 (第 1 期前期 会長より)

議題

1. 議長の選任、社員総会定足数・議事録署名人の報告
2. 報告事項

第 1 期後期 理事候補者・監事候補者の選挙結果について

3. 審議事項

第 1 号議案 2022 年度 事業報告及び決算 (案) の承認

第 2 号議案 2023 年度 事業計画及び予算 (案) の承認

第 3 号議案 倫理綱領 (案) の承認

第 4 号議案 第 1 期後期 理事・監事の承認

4. 休憩 / 新理事会 (第 1 期後期 会長・副会長選挙)
5. 新会長・新副会長の選任について
6. その他

閉会の辞 (第 1 期前期 副会長より)

出席者名簿

《第1期 代議員》

樋口 純一郎	神戸市こども家庭センター	第1期前期 理事	会長
多田 智栄子	関西国際大学子育て支援センター	〃	副会長／教育・SC 領域委員長
富永 良喜	兵庫県教育委員会丹波教育事務所	〃	副会長
安東 大起	一般社団法人パーマネント・クリ エイティブ・マインド	〃	事務局長
大野 詩織	一般社団法人パーマネント・クリ エイティブ・マインド	〃	広報委員長
中村 有生	兵庫県立清水が丘学園	〃	研修委員長
永浦 拓	北海道教育大学	〃	医療・産業領域委員長
高田 豊司	関西福祉大学	〃	福祉・司法領域委員長
大島 剛	神戸親和大学	第1期前期 監事	
高寄 誠	明石こころのホスピタル		
谷家 優子	兵庫教育大学保健管理センター		
中植 満美子	神戸海星女子学院大学		
服部 泰子	兵庫県立神戸聴覚特別支援学校		
山根 隆宏	神戸大学		
山本 沙弥香	ひびきこころのクリニック、 ひょうご被害者支援センター		

※代議員の任期＝2021～2024 年度

※第1期前期 理事・監事の任期＝2021～2022 年度

以上、15名

松本 愛奈	兵庫県立清水が丘学園	会員	総会事務担当
-------	------------	----	--------

1. 議長の選任、社員総会定足数、議事録署名人の報告

議長は、定款 15 条「社員総会の議長は、予め理事会において定めたものがこれに当たる」に基づき、第 16 回理事会（2023 年 5 月 24 日）において、安東 大起 氏（理事／事務局長）が選任されました。

社員総会は、当会定款 17 条「社員総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う」、同定款 18 条「社員総会に出席できない社員は、他の社員を代理人として議決権の行使を委任することができる。この場合においては、当該社員又は代理人は、社員総会ごとに代理権を証明する書類をこの法人に提出しなければならない」、同定款 19 条「社員総会の招集を決定する理事会において、社員総会に出席できない社員が書面又は電磁的方法によって議決権を行使することができる旨の定めをすることができる。この場合においては、書面又は電磁的方法によって行使した議決権の数は、出席した社員の議決権の数に算入する」の規定に基づき、出席者数に、電磁的方法による議決権の行使もしくは委任した社員数を加えた数が過半数（8 名以上）となれば、社員総会の定足数を満たすこととなります。

⇒ 代議員 15 名のうち、出席者 12 名、欠席者 3 名（富永良喜副会長、永浦拓理事、中植満美子代議員）、電子的方法による議決権の行使もしくは委任した人数 3 名、よって計 15 名（過半数 8 名以上）で定足数が満たされました。

議事録署名人は、定款 21 条「社員総会の議事については、法令で定めるところにより、書面又は電磁的記録により議事録を作成し、議長又は会長がこれに記名押印又は署名（電磁的記録の場合は電子署名）する」の規定に基づき、樋口純一郎会長が電子署名し、電磁的記録を事務局に保管するものとします。

2. 報告事項 第1期後期 理事候補者・監事候補者の選挙結果について

以下のとおり、第1期後期 理事候補者・監事候補者選挙を実施しましたので報告いたします。

投票期間 2023年3月6日～2023年3月17日
 開票日時 2023年3月23日（第15回理事会）
 候補者数 15名（定数 理事8名、監事1名）
 有権者数 15名
 投票者数 14名（投票率93.3%） ※1人4票まで
 投票数 56票（有効数56票 無効数0票 有効投票率100%）
 開票立会 9名（選挙管理委員2名、理事7名、監事1名、事務担当1名）

順位	理事候補者	得票数
1	樋口 純一郎	13
2	安東 大起	7
3	永浦 拓	6
4	大野 詩織	4
4	高田 豊司	4
4	富永 良喜	4
4	山根 隆宏	4
8	大島 剛	3
9(1)	谷家 優子	2
9(2)	高寄 誠	2
9(3)	多田 智栄子	2
9(4)	中村 有生	2

辞退

辞退

繰り上げ

繰り上げ

順位	監事候補者	得票数
1	大島 剛	10
2	多田 智栄子	5
3(1)	中村 有生	3
3(2)	富永 良喜	3

選挙管理委員会

委員長 安東 大起

委員 香川 葉月、大野 詩織

3. 審議事項（結果）

第1号議案（2022年度事業報告及び決算（案）の承認）について

承認	15名
承認しない	0名
保留	0名

で承認されました。

第2号議案（2023年度事業計画及び予算（案）の承認）について

承認	15名
承認しない	0名
保留	0名

で承認されました。

第3号議案（倫理綱領（案）の承認）について

承認	15名
承認しない	0名
保留	0名

で承認されました。

第4号議案（第1期後期理事・監事の承認）について

理事候補者8名、監事候補者1名、それぞれに対して、

承認	15名
承認しない	0名
保留	0名

で全員承認されました。

3. 審議事項

(第1・2号議案) 2022年度 事業報告及び決算(案)、2023年度 事業報告及び予算(案)の承認

《会長・副会長》

会 長=樋口 純一郎(神戸市こども家庭センター)

副会長=多田 智栄子(関西国際大学子育て支援センター)、富永 良喜(兵庫県教育委員会丹波教育事務所)

2022年度 事業計画	2022年度 事業報告(案)	2023年度 事業計画(案)
<p>①理事会の招集(隔月1回程度/オンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画・報告(案)の作成 ・予算・決算(案)の作成 ・入会承認 ・適宜、審議事項の決議 <p>②「倫理綱領」策定(2022年冬頃)</p> <p>③一般社団法人日本公認心理師協会全国都道府県公認心理師協会等代表者懇談会 出席(時期未定/場所未定)</p> <p>④近畿公認心理師職能団体(滋賀・大阪・和歌山)連絡会 出席(2022年秋頃/オンライン)</p> <p>⑤その他、関係機関からの要請に対応(随時)</p>	<p>①2022/4/26、5/31、8/23、10/26、2023/1/17、3/23、いずれもオンラインで理事会を招集し、適宜検討事項を協議した(計6回)。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2022年度の入会者37名、退会者2名、2023/3/31現在で会員171名、昨年度から35名増加した。 2) 各委員会で委員を任命し、領域別の研修を企画等の活動を展開した。 3) 関連団体との連携強化として、兵庫県臨床心理士会と研修共催や相互後援(2022/11/20兵庫県臨床心理士会主催『子どもの臨床現場における緊急支援』(デザインクリエイティブセンター神戸)を後援)をした(※共催研修や後援をもらった主催研修は、福祉・司法領域委員会で後述)。 <p>②2022秋頃から検討、2023/3/23第15回理事会にて案を決議、本総会で審議予定である(第3号議案)。</p> <p>③2023/2/25にオンラインで開催され、樋口会長が出席。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本公認心理師協会は2023年月より公益社団法人となる。各都道府県公認心理師職能団体を対象に「連携団体」の提案があり、賛同した。併せて、一般社団法人公認心理師の会とも連携予定である。 2) 2022年7月、2023年3月・5月、日本公認心理師協会より、厚生労働省公認心理師制度推進室『公認心理師法附則第5条への対応に係る関係団体の意見聴取について』の照会があり、非心理職有資格者の課題や養成実習受け入れの困難さについて回答・要望した。 <p>④当会が提案・コーディネイトのうえ、2023/3/24にオンラインで開催、樋口会長・大野理事(広報担当)が出席した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) いずれの団体も少数理事や有志会員で運営している状況である。 2) 賛同する団体間で情報交換のためのメーリングリスト運用や各会員の研修参加受け入れを予定している。 <p>⑤</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2022/9/14、兵庫県立三田祥雲館高校から在校生対象の「職業人講話」の依頼あり、永浦理事が出席した。 2) 2022/11/25、12/13、一般社団法人日本精神保健福祉士協会主催『厚生労働省令和4年度心のケア相談研修』(オンライン)の受講者推薦依頼があり、高寄代議員を推薦した。 	<p>①理事会の招集(隔月1回程度/オンライン)</p> <p>事業計画・報告(案)の作成</p> <p>予算・決算(案)の作成</p> <p>入会承認</p> <p>適宜、審議事項の決議等</p> <p>②一般社団法人日本公認心理師協会全国都道府県公認心理師協会等代表者懇談会 出席(時期未定/場所未定)</p> <p>③近畿公認心理師職能団体(滋賀・大阪・和歌山)連絡会 出席(2023年度後半/オンライン)</p> <p>④その他、関係機関からの要請に対応(随時)</p>

《事務局》

事務局長=安東 大起（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）

2022年度 事業計画	2022年度 事業報告（案）	2023年度 事業計画（案）
①事務運営 （事務局管理、ホームページ管理、文書等収 発、税務等） ②定時社員総会の開催（2023年6月頃） ③第1期後期理事・監事候補者選挙事務（2023 年3月頃に選挙実施）	①計画どおり運営した。 最新号ニュースレターの巻頭言と目次をホー ムページから閲覧できるようにした（バックナ ンバーは会員専用ページからダウンロードが 可能。） ②2023/6/25（本日）、オンラインで開催予定。 ③2023年3月、第1期前期理事・監事任期満了に 伴い、第1期後期理事・監事候補者選挙（電子 投票）を実施した。	①事務運営 （事務局管理、ホームページ管理、文書等収 発、税務等） ②定時社員総会の開催（2024年6月頃）

《広報委員会》

委員長=大野 詩織（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）

委 員=香川 葉月（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）、中植 満美子（神戸海星女学院大学）、新林 智子（兵庫県スクールカウ
 セラー）、本田 浩子（愛神愛隣舎）

2022年度 事業計画	2022年度 事業報告（案）	2023年度 事業計画（案）
①ニュースレター第3号の発行（2022年9月／ホ ームページ） ②ニュースレター第4号の発行（2023年3月／ホ ームページ）	①ニュースレター第3号を2022年9月に発行し した。 ②ニュースレター第4号を2023年3月に発行し した。	①ニュースレター第5号の発行（2023年9月／ホ ームページに掲載） ②ニュースレター第6号の発行（2024年3月／ホ ームページに掲載）

《研修委員会》

委員長=中村 有生（兵庫県立清水が丘学園）

委員=香川 葉月（一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド）、高寄 誠（明石こころのホスピタル）、谷家 優子（兵庫教育大学保健管理センター）、服部 泰子（兵庫県立神戸聴覚特別支援学校）、松本 愛奈（兵庫県立清水が丘学園）、森谷 明日香（三菱重工）、山根 隆宏（神戸大学）

2022年度 事業計画	2022年度 事業報告（案）	2023年度 事業計画（案）
<p>①研修開催（2022年夏頃、冬頃、2023年春頃）</p> <p>②兵公心 Café（交流サロン）の開催（2022/5/20、8/5、10/28、冬頃、2023年春頃／オンライン）</p>	<p>①</p> <p>1) 全体研修：2022/8/11『アウトリーチの求められる公認心理師像について』（オンライン） 講師：野田 正人 氏（立命館大学） 参加者数：約 30 名 内容：少年司法、児童虐待、学校教育の現場経験から、多角的な視点やアウトリーチの大切さを学んだ。</p> <p>2) 基礎研修：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 2022/11/19『トラウマ時代を生きる』（オンライン）。講師は、富永副会長（兵庫県教育委員会）・高橋哲氏（兵庫県 SC）。参加者は約 30 名。トラウマの基本から、実践まで学ぶことができた。トラウマの観点はもはやどの臨床領域においても知っている必要があることで、公認心理師に必要な知識である。 ・第2回 2022/12/15『節税していますか？ 青色申告って知っていますか？ ～公認心理師が知っておきたい、税と確定申告の基礎知識～』（オンライン）。講師は、上吹越 敦 氏（みそら税理士法人）。参加者は 75 名。税務や確定申告の基本的な事柄について学ぶことができ、参加者からも大変好評であった。 ・第3回 2023/2/23『高齢者領域の心理臨床』（オンライン）。講師は、大庭 輝 氏（弘前大学）。参加者は約 40 名。ニーズが高まっている領域だが、この分野に明るくない心理職が多い。アセスメントや現場の実際について、大変勉強になる機会であった。 <p>②2022/5/20、8/5、10/28、2023/1/27 の計 4 回、いずれもオンラインで開催した。各回 15～30 名ほどの参加であり、特に 5/20『現場の公認心理師に聞いてみたいこと、公認心理師をめざす学生に伝えておきたいこと』では、大学院生 19 名を含む計 34 名と盛況であり、大学院生のうち数名は以降の回にも参加する者も見られ、資格取得後に入会を促すためにも、今後は学生を対象とした企画も会の発展のためには有効ではないかと考えらえる。</p>	<p>①研修会</p> <p>1) 全体研修 2023年秋頃 2) 基礎研修 年間3回（夏頃、冬頃、来春頃）</p> <p>②兵公心 Café（交流サロン）の開催（2023/6/2、9月頃、12月頃、3月頃／オンライン）</p>

《医療・産業領域委員会》

委員長=永浦 拓（北海道教育大学）

2022 年度 事業計画	2022 年度 事業報告（案）	2023 年度 事業計画（案）
<p>①委員会主催研修の開催</p>	<p>①委員会主催の研修については、医療・福祉領域に関わる理事・会員と協議のうえ、2023 年度以降に実施することとした。理由としては、オンライン研修が多く見つけてもらいづらい状況であり、内容や時期などを吟味したうえでの実施の方が、多くの参加者が見込めるのではないかと考えたからである。</p> <p>なお、内容として他職種出身者のニーズとしては、倫理面の話などは喫緊の課題と思われるが、全体研修で行うのが適切ではないか、研修会内容については「臨床心理士会との差別化をはかる」というところで参加者を確保できるようにする、特に認知行動療法に関する研修などのニーズが高いのではないか等の意見が挙げられた。</p>	<p>①委員会主催アンケート（希望する研修内容等に関するもの）の実施</p> <p>②アンケート結果をもとにした委員会主催研修の実施</p>

《教育・SC 領域委員会》

委員長=多田 智栄子（関西国際大学子育て支援センター）

委員=川元 佳子（加古川市スクールカウンセラー）、富永 良喜（兵庫県教育委員会丹波教育事務所）、新林 智子（兵庫県スクールカウンセラー）、服部 泰子（兵庫県立神戸聴覚特別支援学校）

2022 年度 事業計画	2022 年度 事業報告（案）	2023 年度 事業計画（案）
<p>①委員会主催研修の開催</p>	<p>①委員会主催研修開催については、研修内容などの現場ニーズをキャッチすることができず、次年度へ持ち越しとした。</p> <p>次年度事業計画の委員会の話し合いの中では、学校現場での LGBT についての問題提起をしていくことが提案された。この方向で次年度の委員会主催の研修を企画していくことを確認した。</p> <p>②2022 年 5 月、兵庫県教育委員会スクールカウンセラー等の担当主事などへ兵庫県公認心理師会設立についての挨拶及び今後の協力関係についての話し合いをオンラインで行った。</p>	<p>①委員会主催研修を年度内に 1 回程度開催する。内容としては、委員会で確認された「学校現場での LGBT」の内容で研修会を開催し、講師としては当事者などを模索していく。実施時期としては、2023 年 9 月もしくは 10 月頃。オンラインで行う。</p> <p>②兵庫県臨床心理士会など、他の組織との研修共催などの実施に向け、働きかけをしていく。</p>

《福祉・司法領域委員会》

委員長=高田 豊司（関西福祉大学）

委員=谷家 優子（兵庫教育大学保健管理センター）、樋口 純一郎（神戸市こども家庭センター）、松本 愛奈（兵庫県立清水が丘学園）、三宅 彩加（善照学園）、森 歩夢（関西福祉大学）、山根 隆宏（神戸大学）

2022年度 事業計画	2022年度 事業報告（案）	2023年度 事業計画（案）
<p>①委員会主催研修の開催</p>	<p>①兵庫県臨床心理士会福祉領域委員会と当会の福祉・司法領域委員会との共催により、社会的養護研修会『アドボカシーと心理支援』を2022/11/13 オンラインにて開催した。樋口委員（兼兵庫県臨床心理士会福祉領域委員）の司会のもと、若林亮氏（信愛学園）、三宅委員（善照学園）が話題提供者を務め、当会からは高田委員長（関西福祉大学）が指定討論者を務めた。参加者約 30 名。</p> <p>②福祉・司法領域研修『福祉・司法領域における性に関する課題とその対応』を、2023/2/11 オンラインにて開催した。司会は山根委員、講師は伊庭千恵氏（ライフデザインカウンセリングルーム）、話題提供者は中原由望子氏（立命館大学人間学研究科）が務めた。参加者約 30 名。</p>	<p>①福祉・司法領域委員会として、年間 1 回程度の研修会を開催する。</p> <p>②その他、兵庫県臨床心理士会福祉領域委員会等、他団体との研修会共催・後援依頼等に対応する。</p>

貸借対照表

令和 05 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,225,646	1,324,671	900,975
流動資産合計	2,225,646	1,324,671	900,975
資産合計	2,225,646	1,324,671	900,975
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等	0	107,600	-107,600
預り金	94,709	53,185	41,524
流動負債合計	94,709	160,785	-66,076
負債合計	94,709	160,785	-66,076
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
一般正味財産	2,130,937	1,163,886	967,051
正味財産合計	2,130,937	1,163,886	967,051
負債及び正味財産合計	2,225,646	1,324,671	900,975

正味財産増減計算書

令和 04 年 4 月 1 日 から 令和 05 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,396,509	1,715,925	-319,416
会員年会費	914,009	647,268	266,741
研修会参加費	482,500	1,068,657	-586,157
受取寄付金	0	0	0
雑収益	17	6	11
受取利息	17	6	11
経常収益計	1,396,526	1,725,931	-329,405
(2) 経常費用			
通信運搬費	2,804	46,038	-43,234
消耗品費	0	6,980	-6,980
支払手数料	95,954	75,502	20,452
諸謝金	209,000	250,000	-41,000
賃借料	116,820	69,490	47,330
雑費	4,895	6,435	-1,540
経常費用計	429,473	454,445	-24,972
評価損益調整前経常増減額	967,053	1,271,486	-304,433
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	967,053	1,271,486	-304,433
法人税、住民税及び事業税	2	107,600	-107,598
一般正味財産増減額	967,051	1,163,886	-196,835
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	967,051	1,163,886	-196,835
II 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	967,051	1,163,886	-196,835

正味財産増減計算書内訳表

令和 04 年 4 月 1 日 から 令和 05 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科目	収益事業会計	非営利事業会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	0	1,396,509	1,396,509
会員年会費	0	914,009	914,009
研修会参加費	0	482,500	482,500
受取寄付金	0	0	0
経常収益計	0	1,396,526	1,396,526
(2) 経常費用			
管理費	0	429,473	429,473
通信運搬費	0	2,804	2,804
消耗品費	0	0	0
支払手数料	0	95,954	95,954
諸謝金	0	209,000	209,000
賃借料	0	116,820	116,820
雑費	0	4,895	4,895
経常費用計	0	429,473	429,473
評価損益調整前経常増減額	0	967,053	967,053
当期経常増減額	0	967,053	967,053
一般正味財産増減額	0	967,053	967,053
一般正味財産期末残高	0	2	2
一般正味財産期末残高	0	967,051	967,051
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	80,449	2,050,488	2,130,937

財産目録

令和 05 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金 但陽信用金庫／姫路北支店	2,225,646		
流動資産合計		2,225,646	
資産合計			2,225,646
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	94,709		
未払法人税等	0		
流動負債合計		94,709	
負債合計			94,709
正味財産			2,130,937

2022年度 収支計算書（案）

（2022年4月1日～2023年3月31日まで）

収入総額	¥2,560,410
支出総額	¥429,473
差引残高	¥2,130,937

	収入				支出			
	項目	2022年度 収入	2022年度 予算	2021年度 収入	項目	2022年度 支出	2022年度 予算	2021年度 支出
事務局	会員年会費	914,009	700,000	647,268	事務所賃借料	116,820	69,490	69,490
	雑収益	15	0	6	税理士契約料	0	240,000	0
	寄付金	0	0	10,000	予備費	0	514,750	0
	前年度繰越金	1,163,886	0	0	備品費、雑費等	4,895	50,000	13,415
					システム管理費用 (HP、ドメイン)	45,760	45,760	45,760
					peatix手数料	50,194	0	75,502
					法人税、住民税及び事 業税	0	107,600	107,600
	小計	2,077,910	700,000	657,274	小計	217,669	1,027,600	311,767
広報委員会					郵送費	2,804	10,000	278
					ニュースレター	0	10,000	0
	小計	0	0	0	小計	2,804	20,000	278
研修委員会	夏 全体研修参加費	63,000	100,000	628,157	講師謝金	145,000	250,000	250,000
	秋 基礎研修参加費	30,000	100,000	100,000	兵公心café講師謝金	14,000	10,000	0
	冬 基礎研修参加費	204,000	100,000	98,000				
	春 基礎研修参加費	83,000	100,000	224,000				
	兵公心café参加費	42,500	50,000	18,500				
	社会的養護研修	2,000	0	0				
	小計	424,500	450,000	1,068,657	小計	159,000	260,000	250,000
医療・産業 領域委員会	医療・産業領域研 修会参加費	0	50,000	0	講師謝金	0	50,000	0
	小計	0	50,000	0	小計	0	50,000	0
教育・SC領 域委員会	教育・SC領域研修 会参加費	0	50,000	0	講師謝金	0	50,000	0
	小計	0	50,000	0	小計	0	50,000	0
福祉・司法 領域委員会	福祉・司法領域研 修会参加費	58,000	50,000	0	講師謝金	50,000	50,000	0
	小計	58,000	50,000	0	小計	50,000	50,000	0
総計		2,560,410	1,300,000	1,725,931		429,473	1,200,000	562,045

監査報告書

一般社団法人 兵庫県公認心理師会

会長 樋口 純一郎 様

一般社団法人 兵庫県公認心理師会定款 25 条「監事は、理事の職務の執行を
監査し、法令の定めるところにより、監査報告を作成する」の規定に基づき、
2022 年度の事業報告及び決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、財
産目録、収支計算書及び帳簿等の関係書類を監査した結果、適正かつ正確である
ことを認めます。

2023 年 6 月 8 日

一般社団法人 兵庫県公認心理師会

監事 大島 剛 

2023年度 収支予算書(案)

(2023年4月1日~2024年3月31日まで)

収入総額	¥3,530,939
支出総額	¥3,530,939
差引残高	¥0

収入				支出		
	項目	2023年度 予算	2022年度 収入	項目	2023年度 予算	2022年度 支出
事務局	会員年会費	700,000	914,009	事務所賃借料	69,490	116,820
	雑収益	0	15	税理士契約料	900,000	0
	研修会参加費	100,000	0	予備費	705,689	0
	前年度繰越金	2,130,939	1,163,886	備品費、雑費等	50,000	4,895
				システム管理費用 (HP、ドメイン)	45,760	45,760
				peatix手数料	80,000	50,194
				法人税、住民税及び 事業税	0	0
				研修会運営費	200,000	0
				周年事業積立	400,000	0
	小計	2,930,939	2,077,910	小計	2,450,939	217,669
広報委員会				郵送費	30,000	2,804
				チラシ	50,000	0
	小計	0	0	小計	80,000	2,804
研修委員会	夏 全体研修参加費	100,000	63,000	講師謝金	300,000	145,000
	秋 基礎研修参加費	100,000	30,000	兵公心café講師謝金	100,000	14,000
	冬 基礎研修参加費	100,000	204,000			
	春 基礎研修参加費	100,000	83,000			
	兵公心café参加費	50,000	42,500			
	社会的養護研修	0	2,000			
	小計	450,000	424,500	小計	400,000	159,000
医療・産業 領域委員会	医療・産業領域研修会参加費	50,000	0	講師謝金	200,000	0
	小計	50,000	0	小計	200,000	0
教育・SC 領域委員会	教育・SC領域研修会参加費	50,000	0	講師謝金	200,000	0
	小計	50,000	0	小計	200,000	0
福祉・司法 領域委員会	福祉・司法領域研修会参加費	50,000	58,000	講師謝金	200,000	50,000
	小計	50,000	58,000	小計	200,000	50,000
総計		3,530,939	2,560,410		3,530,939	429,473

審議事項

(第3号議案) 倫理綱領(案)の承認

当会会員がコンプライアンスを遵守してより質の高い支援をすることで、要支援者の福祉に最大限寄与し、かつ会員自身の業務も保障されるために、当会ではこのたび倫理綱領(案)を作成しました。第15回理事会(2023年3月23日)にて決議されましたが、本総会の審議事項として承認を伺います。

一般社団法人 兵庫県公認心理師会 倫理綱領(案)

理事会議決 2023年3月23日

一般社団法人兵庫県公認心理師会は、公認心理師の地方職能団体として、会員が提供する専門的心理支援業務の質を保つとともに、要支援者等の基本的人権を守り、自己決定権を尊重し、その心の健康と福祉の増進を目的として、倫理綱領を策定する。

会員は上記の目的に沿うよう、専門的職業人であるとともに、一人の社会人としての良識を保持するよう努め、その社会的及び道義的な責任を果たすため、以下の綱領を遵守する義務を負うものである。

- 1 会員は、人々の心の健康の保持増進のために、高い倫理観と使命感をもって活動し、公共の福祉に寄与することを通じて、よりよい社会づくりに貢献する。
- 2 会員は、基本的人権を尊重し、国籍、人種、性別、性的指向、年齢、思想、信条、宗教、社会的地位及び経済状態等で人を差別したり、嫌がらせを行ったり、自らの価値観を強制せず、すべての人を受けがえのない存在として尊重する。
- 3 会員は、正当な理由なく、職務上知り得た個人の秘密を漏らしてはならない。
- 4 会員は、要支援者等のプライバシーを尊重し、その自己決定や自立性を重んじる。
- 5 会員は、要支援者等との間に信頼関係を築き、誠意と責任感をもって最善を尽くすとともに、心理支援にあたっては適切な説明を行い、同意を得るように努める。
- 6 会員は、心理支援行為を自己の欲求や利益のために行うことがあってはならない。
- 7 会員は、要支援者に対する心理査定を強制してはならない。また、要支援者が常に最適な条件で心理査定を受けられるように、心理査定用具及びその解説書の取り扱いには十分に留意する。
- 8 会員は、自らの活動について、業務の透明性を保ち、説明責任を果たすため、適切な記録作成・保

管等に努める。

9 会員は、心理支援にあたって、原則として、要支援者等との間で、専門的支援関係の範囲を超えた関係を結ばない。

10 会員は、関係職種や他の専門家を尊重し、要支援者等の利益のために、関係職種や他の専門家と適切な連携・協働・協力を行う。

11 会員は、専門的資質の向上をめざし、相互に切磋琢磨して研鑽を積み、知識と技術に関して、常に最良の水準を保持できるよう努める。同時に、公認心理師の社会的信頼を高められるよう努める。

12 会員は、自らの知識、技術、資質・特性、自己の限界及び抱える葛藤等を十分に自覚したうえで、支援活動をする。また、自己の心身における健康のバランスを保つとともに、常に自分の状態を把握するよう努める。

13 会員は、心理支援にかかわる研究に際しては、要支援者や関係者等の心身に不必要な負担をかけたり、苦痛や不利益をもたらしたりすることを行ってはならない。研究は、業務遂行に支障をきたさない範囲で行うよう留意し、要支援者や関係者等にその目的を告げて、同意を得たうえで行う。

14 会員は、心理支援にかかわる研究・実践を通じ、専門的知識・技能の創造と開発に努め、専門的心理支援領域の学問的発展に貢献する。

15 会員は、出版、講演、研修活動、各種通信媒体による情報発信等において、専門家としての十分な配慮と節度を保つ。

16 会員は、一般社団法人兵庫県公認心理師会の活動に参加・協力し、後進の育成に尽くすとともに、職能と職域の発展のために相互に律し合い、高め合う。

17 会員は、公認心理師の信用を傷つけ、または公認心理師全体の不名誉となるような行為をしない。

18 会員は、公認心理師法をはじめ、各種法規を遵守するとともに、本倫理綱領を含む、本会の定款及び関連規程等を遵守する。

附則 本綱領は、2023年 月 日より施行する。

審議事項**(第4号議案) 第1期後期 理事候補者・監事候補者の承認**

《理事候補者》

樋口 純一郎	神戸市こども家庭センター	再
安東 大起	一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド	再
大野 詩織	一般社団法人パーマネント・クリエイティブ・マインド	再
高田 豊司	関西福祉大学	再
冨永 良喜	兵庫県教育委員会丹波教育事務所	再
山根 隆宏	神戸大学	
谷家 優子	兵庫教育大学保健管理センター	
高寄 誠	明石こころのホスピタル	

《監事》

大島 剛	神戸親和大学	再
------	--------	---

※第1期後期 理事・監事の任期=2023~2024年度

※再=第1期前期 理事・監事

当会選挙規程第9条の4「理事候補者は、本会定款第17条の決議を経た場合には、理事として選任される」、同12条の4「理事候補者は、本会定款第17条の決議を経た場合には、監事として選任される」と規定されています。

※当会定款第17条「社員総会の決議は、法令又は諦感に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う」

4. 休憩 / 新理事会（第1期後期 会長・副会長選挙）

第16回理事会（2023年5月24日）において、選挙管理委員として

大島 剛 会員（代議員）

松本 愛奈 会員（総会事務担当）

の2名が選任されました。当会選挙規程に基づいて選挙を行い、選挙管理委員が開票作業を行います。

選挙規程

第10条 会長・副会長の選出は、前条第4項に規定する理事選任の決議に引き続き、理事会において理事の互選による単記無記名投票によってこれを行う」

2 得票数の上位3名のうち、最上位1名を会長に、残り2名を副会長に、それぞれ選出する。

3 会長もしくは副会長の確定において同点者の生じた場合は、同位の者だけで再度理事の互選による単記無記名投票を行う。

4 同一人はひきつづいて4期（8年）を超えて会長に選任することはできない。

5. 新会長・新副会長の選任について

投票期間 2023年6月25日 第17回理事会（本社員総会 休憩中）

新理事8名中7名が出席（欠席1名=冨永理事）、定款36条「理事会の決議は、この定款に別段の定めがある場合を除き、議決に加わることのできる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う」に基づき、理事会は成立しました。

開票日時 2023年6月25日（Zoom投票機能による）

候補者数 8名（定数 理事8名）

有権者数 8名

投票者数 7名（投票率87.5%） ※1人1票まで

投票数 7票（有効数7票 無効数0票 有効投票率100%）

開票立会 9名（選挙管理委員2名、理事7名）

・投票（1回目）

1位=樋口純一郎（7票）……会長承認

・投票（2回目）

1位=冨永良喜（4票）……副会長応諾

2位=高田豊司（2票）……副会長応諾

3位=安東大起（1票）

6. その他

特になし

議事録署名

樋口純一郎

